

没後30年 川崎駅東口にLC建立

九ちゃんたたえ歌碑

川崎市出身の国民的歌手、坂本九さんが亡くなってから、ことしで30年。九ちゃんの愛称で親しまれ、「上を向いて歩こう」などのヒット曲を残した功績を長く市民らに語り継ごうと、地元の奉仕団体がJR川崎駅東口に歌碑を建立する。11日の除幕式を前に、関係者は「東口の『九ちゃん前』を待ち合わせ場所に使ってほしい」と、川崎の玄関口の新たなシンボルになればと期待している。

(塩野 圭太)

11日 新たなシンボルに 除幕式



JR川崎駅東口に建立される坂本九さんの歌碑 (川崎市提供)

「プレスリーに憧れ、歌手を志した9人兄弟の末っ子」。妻で女優の柏木由紀子さんがプロフィールを練り上げ、「スキヤキ」の曲名で米ビルボード誌1位に輝いた「上を向いて」の歌詞を刻んだ。台座を含めて高さ1・9メートル、重さ約6トンの御影石は「涙がこぼれないように」(関係者)と、頂上部がくぼんだ独特の形状となった。

歌碑を建立し、川崎市に寄贈するのは奉仕団体「ライオンズクラブ(LC)国際協会330-B地区(安達成功ガバナ、神奈川・山梨など)。川崎市内24のLCも所属しており、九さんの没後30年に合わせ「音楽のまち」を掲げる同市の取り組みを後押ししようと事業化を決定。市と土地を管理するJR東日本に提案し、快諾された。

1985年8月、乗客520人が犠牲になった日航ジャンボ機墜落事故で命を

落とした九さん。川崎市は毎年のように顕彰事業を行うが、その偉業を形に残すのは出身の市立川崎小学校(川崎区)の校門脇にある看板くらいという。

母の実家で第2次大戦中に疎開した茨城県笠間市は、1965年に歌碑を建立。旧家の保存にも取り組んでおり、「今まで川崎になかったことが不思議なくらい。末永く市民に親しんでほしい」(LC関係者)。

除幕式には福田紀彦市長や柏木さん、娘の大島花子さん、舞坂ゆき子さんらが出席予定で、同市からLCへ感謝状も贈られる。福田市長は7日の定例会見で、

「川崎の玄関口に歌碑が建つことで、あらためて九さんが川崎出身だと広く伝えるいい機会になる」とコメントした。

(株)阿部石材店が設計・施工を致しました記念歌碑が掲載されました。